

ニュースリリース

産学官連携で フレイル予防高野豆腐開発！

飯田女子短期大学 家政学科 友竹浩之教授・安富和子特任教授をはじめとする研究チームによる論文『高齢者健康教室における咀嚼、栄養、運動指導の効果』が、日本栄養・食糧学会誌に掲載されました。

今回の健康教室により咀嚼力・握力等の筋力向上が認められました。今回開発された高野豆腐を日常的に摂取することが、これらの筋力向上の一因になったと考えられています。

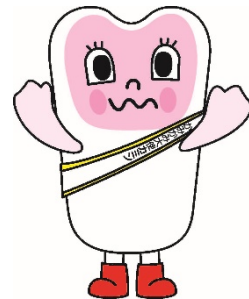
旭松食品株式会社では、飯田女子短期大学および南信州・飯田産業センターとの産学官連携により開発された、この高野豆腐をはじめ、タンパク質等の栄養豊富な高野豆腐をフレイル予防や子供の健やかな成長に役立てていただきたいと考えています。



一般小売用



学校給食用



かみかみ大使 カミン

※論文要旨

「日本栄養・食糧学会誌 第73 巻 第5号 207-213 (2020)」

約2カ月間の健康増進教室参加者28名(75±5歳 女性)の咀嚼能力、握力、食意識などを教室前後で比較し、咀嚼、栄養、運動の指導の有効性について調べた。教室前後の調査項目は、体重、上腕周囲長、下腿周囲長、握力、咀嚼能力(チューインガム・グミゼリーを使用)、食意識調査(質問紙)、栄養状態評価(質問紙)とした。教室はテーマに沿って講義と実習を行った。

(第2回「噛むことの大切さ」、第3回「低栄養を予防する食べ方」、第4回「運動の大切さと筋肉を鍛えるコツ」)。教室実施期間中は、咀嚼および栄養強化食品として高野豆腐を参加者全員に提供し、摂取状況や噛むことの意識を毎日記録してもらった。参加者の教室前後の咀嚼能力を比較した結果、有意に高くなっていた(チューインガム判定 $p=0.004$ 、グミゼリー判定 $p=0.009$)。握力($p=0.049$)、上腕周囲長($p=0.012$)も有意に増加していた。咀嚼の意識についての得点は、教室前と比較して有意に高かった($p=0.016$)。

◎お問い合わせ先

■報道関係者様からのお問い合わせ先

旭松食品(株) 担当：山口 TEL：06-6306-5301

■お客様からのお問い合わせ先

旭松食品(株) お客様相談室 TEL：0120-306-020

受付時間：9:00～17:00(土・日・祝日・弊社休業日を除く)